



# 田川地区平和センター

鶴岡市泉町8番57号 TEL 0235-22-1776 FAX 0235-22-1973 URL <https://ta-heiwa.com/>

編集発行  
田川地区平和運動推進  
労働組合センター教宣部



## 謹賀新年

### 憲法九条の改悪を阻止し「戦争する国」に反対しよう！

反核・脱原発・原発再稼働に反対し、新增設を許さず、核のない社会に向けた運動を強化しよう！



新年明けましておめでとう  
ございます。今年も田川地区  
平和センターの運動に結集をお  
願いたします。

議長 荒井 滋

コロナ禍で4度目の正月を迎えま  
した。「コロナ禍・物価高」は、私  
たちの生活を苦しめています。特に  
非正規労働者をはじめ弱い立場・不  
安定な立場で働く労働者に深刻な影  
響を与えています。

岸田首相は、昨年8月「原発再稼  
働に向け国が前面に立つてあらゆる  
対応をとっていく」と述べ、国の  
原子力政策の大転換を図りました。  
フクシマを風化させる許しがたき暴  
挙です。

また、全国漁業協同組合連合会や  
多くの漁業関係者が反対する原発処  
理水の海洋放出を今年の春から強硬  
しようとしています。フクシマの惨  
劇を忘れることなく、反核・脱原発  
運動の強化に向け、組織された労働  
者と市民団体との連携が重要な課題  
となっています。

日本国憲法が平和憲法として施行  
後最大の危機にあります。2022

年2年間に始まったロシアのウクラ  
イナ侵攻による戦争は今も続いてい  
ます。このような状況下で、ロシア  
の核兵器による脅威論に対抗しよう  
とする「核共有」論や、「敵基地攻  
撃」論が台頭し、日本の防衛費が世  
界第3位になるとし「大軍拡」が  
進み、平和憲法が空洞化されようと  
しています。

昨年行われた参議員選挙の結果、  
改憲勢力の議席が衆参両院で3分2  
を大きく超え、直近の世論調査で防  
衛費の増額は、自国を守るためには  
致し方ないとの結果や改憲すべきと  
の声も増えています。

また「旧統一教会問題」で一時は  
ストップしていましたが、国会では  
憲法調査会で、改憲の実績作りが進  
められています。さらには、ロシア  
のウクライナ侵攻後「台湾有事」を  
煽り、南西諸島近辺は、米国の思惑  
通りに自衛隊ミサイル部隊の拠点と  
化しており、それが軍事緊張を高め  
る一因にもなっています。米軍の意  
向を優先するよりも、平和を願う沖  
縄の人々の心情を優先し、住民を守  
る有事を招かない環境づくりを最優  
先し、軍備増強の前に、真摯な外交  
努力を積み重ねるべきです。

私たちは、先の大戦で、国内外の  
多くの犠牲者の上に平和憲法が制定  
されたことを再確認し、改憲に反対  
し、憲法の理念に基づき誰もが安心  
・安全に生きる権利の保障を求めま  
す。

組合員の皆様にとって平和で豊か  
な社会なることを祈念いたします。

### アジア・アフリカ支援米 発送式行われる

アジア・アフリカ支援米の発送式  
が、12月15日山形県庁前の県民  
緑地公園で行われ、田川地区からは  
圃場提供者の五十嵐一雄さんと事務  
局が出席しました。

発送式は川口事務局長が進行し、  
広谷労働市民会議議長の主催あいさ  
つ後、山形県の代表はじめ5人の来  
賓あいさつがありました。

今年度の各地区の支援米集約状況  
は、山形地区180kg、田川地区  
300kg、飽海地区300kg合  
計で780kgでした。

県労働市民会議において、「コロ  
ナ禍で山形県内でも食料に困ってい  
る人たちに支援できないか」と論議に  
なり、昨年度から、山形市「クロー  
バーの会」に120kgを贈呈して  
おり、今年度も贈呈しました。

発送式では、残りの660kgを  
発送し、後日全国の米と一緒に、国  
連世界食糧計画日本事務所を通じて  
マリ共和国に送付されます。

マリ共和国への輸送費は、1kg  
160円かかります。田川地区支援  
米実行委員会から輸送費三万円をカ  
ンパしました。また、支援米圃場提  
供者の五十嵐さんから、鶴岡市子育  
て推進課を通して、子ども食堂を運  
営している団体等に、米60kgと  
餅3箱が寄贈されました。

来年からは、アジア・アフリカ支  
援米からの贈呈を検討していきま  
す。



凍えているウクライナの人たちに  
「使い捨てカイロ」を送ろう！

ロシア軍がウクライナに侵攻し  
てから11ヶ月を過ぎ、ロシアのミ  
サイル攻撃で発電所などの主要イン  
フラが破壊され、深刻な電力不足に  
陥っているウクライナは、冬は気温  
が零下となるなか、暖房のない暮ら  
しを強いられている人々がいます。

「どうにかさんね山形の会」(代  
表 武田徹)の有志10人が「ウク  
ライナに『使い捨てカイロ』を送る  
会」を結成し、東京のウクライナ大使  
館と相談し、調整ができました。

山形県平和センターは、この運動  
の相談を受け、協力することにし、  
山形市木の実町の山形県平和センタ  
ーをはじめ、米沢、飽海・田川・最  
上・山形地区平和センターで受け付  
けました。1月中に出航する船便で  
支援品としてウクライナに届けられ  
る予定です。

田川地区では鶴岡市職労・県教組  
・高教組、全水道鶴岡水道労組・労  
金労組等7団体、個人32人から寄  
せられました。カンパもありまし  
た。ご協力ありがとうございました。

1月中に船便で支援品としてウクラ  
イナに届けられる予定です。

《東北労働金庫鶴岡支店》  
生活応援バンク  
**R** りょうきん  
労働者のための、ふれ愛バンクです  
鶴岡市末広町1-12  
TEL22-3147

こくみん共済 coop <全労済>  
共済 ショップ 鶴岡  
鶴岡市泉町8-73 TEL 23-6100  
全国労働者共済生活協同組合連合会

コープは組合員みんなの力で  
**COOP** 生活協同組合 共立社  
本部 鶴岡市宝田1-3-23 TEL22-5110